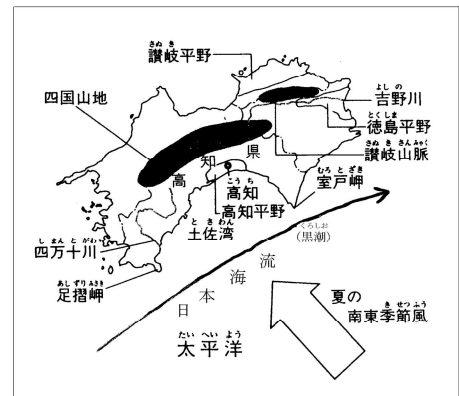
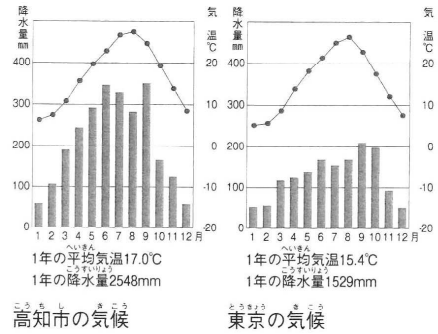


4年上 第12回 練習問題

〈まとめ〉

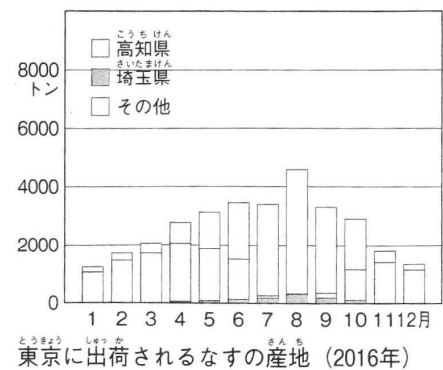
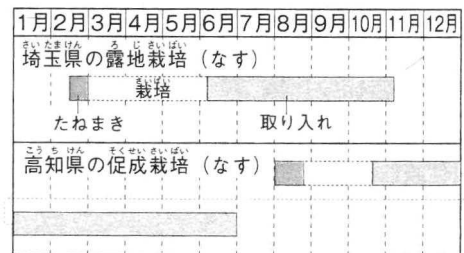
1 高知平野の気候

- 高知県高知市と東京の気候をくらべると、太陽に照らされている時間である(1)時間が高知市の方が、270時間ほど長い。
- 気温にあまりちがいはないが、夏の(2)量は、高知の方がはるかに多い。
- 高知市は(3)に面していてそこで蒸発した水蒸気を、夏の南東からの(4)風が運んでくる。
- この(4)風が(5)山地をこえるときに上空で冷やされて雨雲となり、多くの雨を降らせる。
- また、6月ころの(6)や夏から秋の(7)の影響をうけるので、(2)量が多くなっている。



2 高知平野の農業

- かつては、夏の米づくりが農業の中心であった。しかし、現在は長い(1)時間とあたたかい気候を利用して(8)の栽培が行われている。
- (8)は、(9)・ピーマン・きゅうり・トマトなどの夏(8)とよばれるものである。
- ほかの産地より早く出荷できるように、あたたかい(10)の中であつられている。このような早づくりを(11)栽培という。
- (10)などの施設を使わずに、普通の畑で作物をつくることを、(12)栽培という。
- (12)栽培でおもに夏に取り入れる(8)を、(11)栽培では春や冬に取り入れる。
- ほかの地域で(8)をあまりつukれない時期に出荷するので高い値段で売れる。

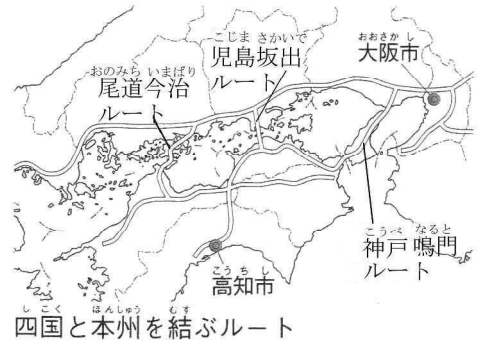


3 野菜づくりの問題点

- 九州の(13)県など、同じような栽培を行う競争相手が増えた。
- (14)県・茨城県など大都市に近い産地に比べて、(15)ぶ費用がかかる。
- 外国からの輸入が増えた。
- ハウス内での作業で、働く人の健康が害されることがある。

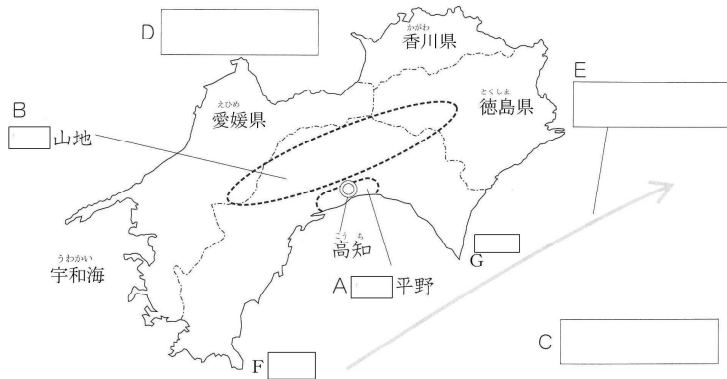
4 野菜のゆくえ

- 出荷場に集められた野菜は、鮮度を保つため(16)装置がついたトラックに積みこまれる。
- トラックで本州と四国を結ぶ橋をわたって、東京や大阪などの大都市へ運ばれる。
- かつてはトラックごと運ぶことのできる(17)という船で輸送された。



5 地形

- 下の地図のA～Gの□にあてはまる名を答えなさい。(『考える社会科地図』を見ましょう。)



練習 1. 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

暖流の黒潮がうちよせる高知平野の海岸ぞいには、たくさんのAが建ち並んでいます。これは、みんな野菜をつくっているAです。Bにかけて、よその野菜の生産地で、野菜の収かきが少なくなるころに、冬でもC気候を利用して野菜をつくり、出荷します。

第二次世界大戦後、都市の人口が増えるにつれて、野菜のじゅよう（買い手）がふえてきました。とくに、季節はずれの野菜が高いねだんで売れるようになり、Dなどの早づくりがさかんに行われるようになりました。これらの野菜は農業協同組合が集め、Eなどで、東京や大阪をはじめ、全国各地へ出荷されています。

- 〔問1〕 Aにあてはまることばをカタカナで答えなさい。
- 〔問2〕 Bにあてはまる最もよいものを次から選んで、記号で答えなさい。
 ア 春から夏 イ 夏から秋 ウ 秋から春 エ 夏から冬
- 〔問3〕 Cにあてはまることばを次から選んで、記号で答えなさい。
 ア あたたかい イ あつい ウ すずしい エ さむい
- 〔問4〕 Dにあてはまる野菜の組み合わせを次から選んで、記号で答えなさい。
 ア きゅうり・はくさい・ピーマン イ きゅうり・ピーマン・なす

ウ かぼちゃ・レタス・ほうれんそう エ ピーマン・キャベツ・だいこん

〔問5〕 にあてはまるものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア ダンプカー イ 新幹線 ウ カーフェリー エ 長距離バス

〔問6〕 下線(====) について、次の問いに答えなさい。

1 早づくりのことを 栽培ともいいます。 にあてはまることばを答えなさい。

2 高知平野のほかに、野菜の早づくりのさかんな地域として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 宮崎県 イ 沖縄県 ウ 千葉県 エ 長野県

3 次の①～③の文が正しければ○、正しければ×でそれぞれ答えなさい。

① 消費地が遠く、運ぶ費用や新鮮さをたもつための費用がかかるのがなやみです。

② 米づくりより利益が大きいので、農家は米づくりをすべてやめてしまいました。

③ 他の農作業にくらべて仕事が楽なので、政府がさかんにしょうれいしています。

練習2. 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

高知県の夏は大へん暑く、雨もよく降ります。なかでも、 月ごろを中心とするつゆのころや、 月を中心とする台風の時期には、とくに雨が多く、また冬でも暖かい気候になっています。このような気候を利用して、かつては、①1年に2回米をつくることがさかんでしたが、今では、これにかわって②野菜の早づくりをする農家がふえています。

〔問1〕 ・ にあてはまるものをそれぞれ次から選んで、記号で答えなさい。

ア, 5 イ, 6 ウ, 7 エ, 8 オ, 9 カ, 10

〔問2〕 下線①のような米のつくり方を米の二期作といいます。このような米のつくり方がへってきた理由として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 米の質が落ちてしまうから。

イ 労力や費用のわりに収かくが少ないから。

ウ 国内の米があまってきたから。

エ 住宅地がふえて、田がへってきたから。

〔問3〕 下線②について、次の問いに答えなさい。

1 このような野菜の早づくりを何といいますか。ひらがな4字で答えなさい。

2 このようなつくり方をする野菜として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア ピーマン イ キャベツ ウ きゅうり エ なす

3 このような野菜づくりがかかえる問題として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 競争相手がふえて、以前のようによいねだんで売れなくなりました。

イ 消費地へ運ぶ費用や、新鮮さをたもつ費用がかかりすぎます。

ウ ハウスがふえすぎたため、ビニールによる害がひろがっています。

エ ハウス内での作業で、いろいろな体の障害をおこす人がふえています。

【まとめ 解答】

1. 日照^{にっしょう} 2. 降水^{こうすい} 3. 太平洋^{たいへいよう} 4. 季節^{きせつ} 5. 四国 6. 梅雨(つゆ)
7. 台風^{たいふう} 8. 野菜^{やさい} 9. なす 10. ビニールハウス 11. 促成^{そくせい} 12. 露地^{ろじ}
13. 宮崎^{みやざき} 14. 千葉 15. 運(はこ) 16. 保冷^{ほれい} 17. フェリー(カーフェリー)
A 高知(平野) B 四国(山地) C 太平洋 D 瀬戸内海^{せとないかい} E 黒潮(日本海流)
F 足摺岬^{あしずりみさき} G 室戸岬^{むろとざき}

【練習問題 解答】

練習 1.

- 問 1 ビニールハウス 問 2 ウ 問 3 ア 問 4 イ 問 5 ウ
問 6 1 促成^{そくせい} 2 エ 3 ① ○ ② × ③ ×

練習 2.

- 問 1 A イ B オ 問 2 エ
問 3 1 そくせい 2 イ 3 ウ